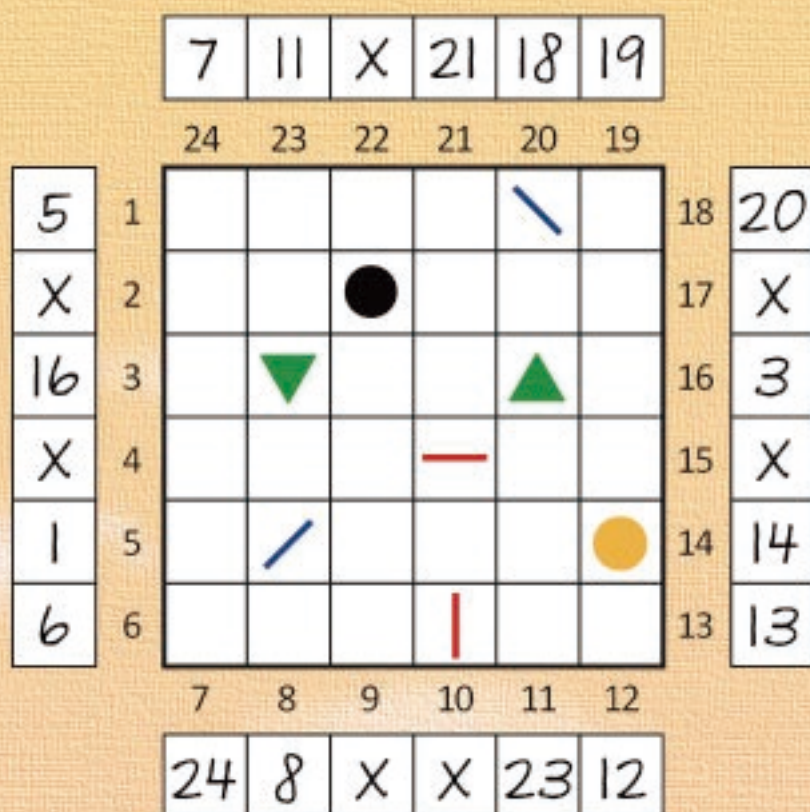


銀河企画・数理科学セミナー

2019年11月

特集 リフレコの問題 (2)



REFLECO

リフレコの問題 (2)

柴崎銀河

盤上の光の進み方で駒の配置を推理するパズル「リフレコ (Refleco)」 [1-3] の問題を紹介します。5種類の駒を盤上に配置し、そこに外から想像上の光を当てると光の進路が変化します。この観測結果から駒の配置を推理するパズルです。

ルール

盤の周囲から光を当てると、光は、盤のなかを進み、途中に駒があれば、そこで屈折したり、あるいは消滅します。光の進路は、駒の種類と向きで決まります。5種類の駒は「一」「/」「○」「●」「△」などの記号で表します。それらによる光の進路の変化は次の通りです。

- 1 反射吸収「一」「|」 正面と背後からの光は反射して戻り、横からエッジに当たった光は吸収します。
- 2 屈折「/」「\」 どの方向からの光も直角に屈折します。吸収はありません。
- 3 反射「○」 どの方向から来た光もその方向に反射します。
- 4 吸収「●」 どの方向から来た光も吸収されて消滅します。
- 5 跳躍「△」「▽」 2個のペアで使います。一方に当たった光は、もう一方の場所にワープして方向を変えずに進みます。2個の駒として数えます。



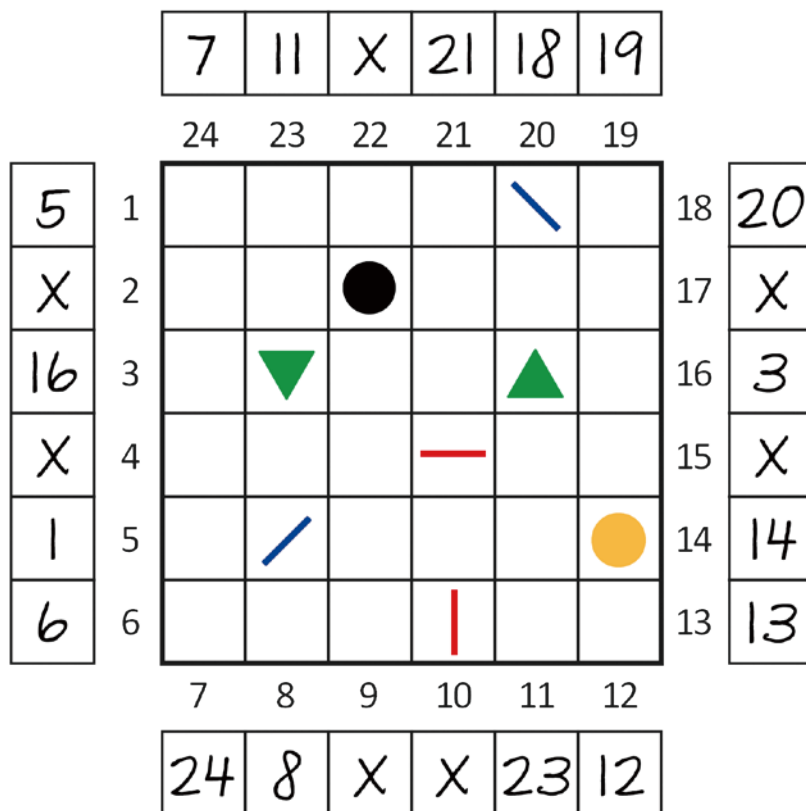
前回の課題 (No.4)

6×6サイズの盤を使った課題を示します。盤の周囲には1から24までの数字が振ってあります。この数字が光の出入口の番号です。更にその数字の外側にはメモ欄があります。この欄に、光が盤に入っていった結果どうなったかを記入します。駒の数は8個です。

						7	11	X	21	18	19						
						24	23	22	21	20	19						
5	1											18	20				
X	2											17	X				
16	3											16	3				
X	4											15	X				
1	5											14	14				
6	6											13	13				
						7	8	9	10	11	12						
						24	8	X	X	23	12						



No.4 の答



今回の課題 (No.5)

盤のサイズは8 × 8です。駒の数は10個です。

		32	X	X	12	X	27	26	X		
		32	31	30	29	28	27	26	25		
X	1									24	8
11	2									23	X
3	3									22	22
X	4									21	X
5	5									20	X
6	6									19	19
18	7									18	7
24	8									17	16
		9	10	11	12	13	14	15	16		
		9	X	2	29	X	14	15	17		



参考文献

- [1] リフレコ (Refleco), 銀河企画,
<http://xtarotg.web.fc2.com/refleco.html>。
- [2] 柴崎銀河：リフレコ, 銀河企画・数理科学セミナー, 2019年4月号。
- [3] 柴崎銀河：リフレコの問題 (1), 銀河企画・数理科学セミナー, 2019年5月号。

銀河企画・数理科学セミナー 2019年11月号

2019年11月28日 第1版

発行所 銀河企画

<http://GPI.JP/>